

中間標準レイアウト仕様について

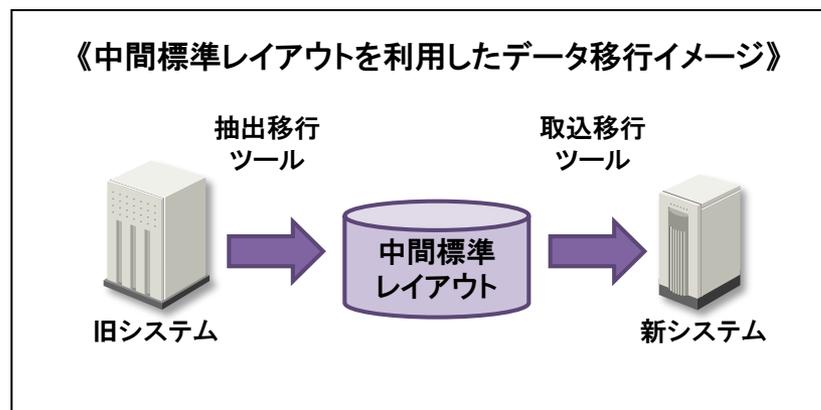
2012年7月3日

1. 中間標準レイアウト仕様の概要
2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式
3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ
4. まとめ

1. 中間標準レイアウト仕様の概要

■ 中間標準レイアウト仕様の考え方

- ▶ 自治体業務システムの切り替えに伴うデータ移行時に、共通的に利用できる中間標準レイアウト仕様を作成
- ▶ 既存の各種標準を反映した仕様を作成
 - ・地域情報プラットフォーム標準仕様の自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3
 - ・戸籍、後期高齢者医療等の標準仕様



■ 作成対象の業務システムと作業体制

- ▶ 下記の22業務システムにつき、日立製作所(全体取纏め)・日本電気・富士通の3社からなるコンソーシアム体制にて、中間標準レイアウト仕様作成の作業を実施

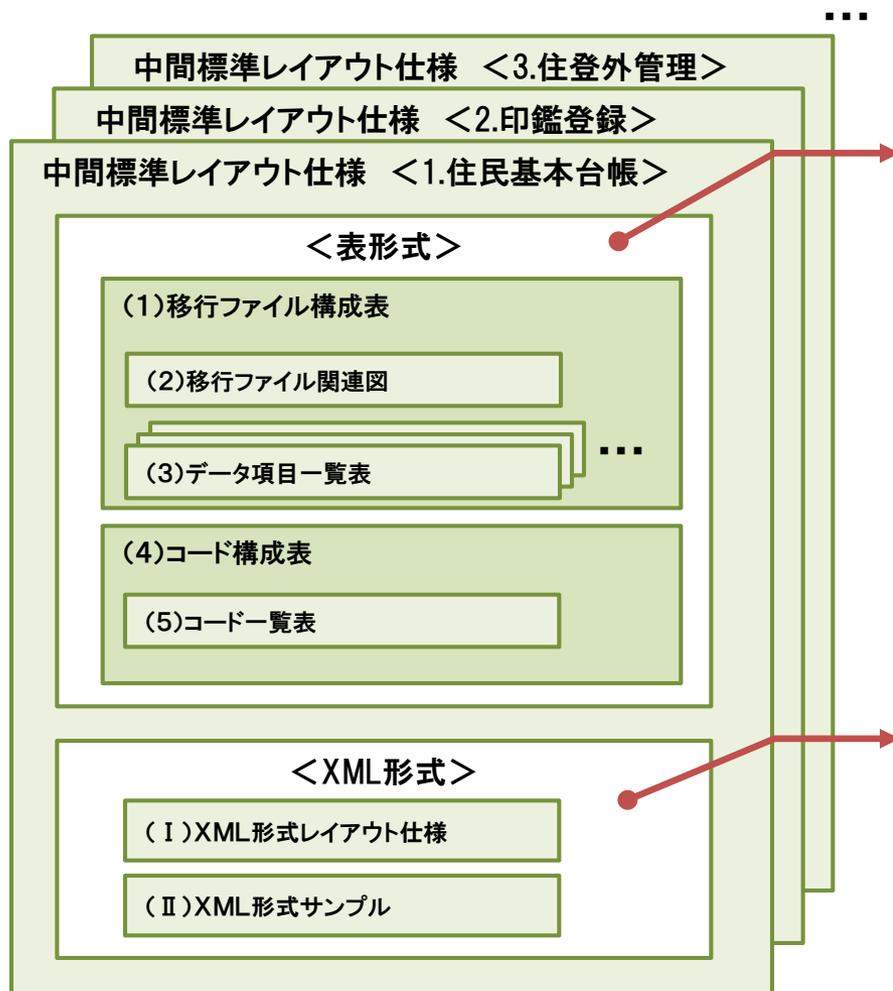
- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 住民基本台帳 | 9. 法人住民税 | 17. 子ども手当 |
| 2. 印鑑登録 | 10. 軽自動車税 | 18. 生活保護 |
| 3. 住登外管理 | 11. 収滞納管理 | 19. 障害者福祉 |
| 4. 戸籍 | 12. 国民健康保険 | 20. 財務会計 |
| 5. 就学 | 13. 国民年金 | 21. 人事給与 |
| 6. 選挙人名簿管理 | 14. 介護保険 | 22. 文書管理 |
| 7. 固定資産税 | 15. 後期高齢者医療 | |
| 8. 個人住民税 | 16. 健康管理 | |

※平成24年7月に施行が予定されている「住民基本台帳法の一部を改正する法律」による外国人住民関係の改正に対応

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

【中間標準レイアウト仕様の全体構成】

- ・中間標準レイアウト仕様として、表形式(5種類)、XML形式(2種類)の7種類のドキュメントを、対象の22業務システム毎に作成。



【表形式の中間標準レイアウト仕様】

- (1) 移行ファイル構成表
…データ移行時に移行するファイル構成の一覧表
- (2) 移行ファイル関連図
…データ移行時に移行するファイル間の関連図
- (3) データ項目一覧表
…移行ファイル内のデータ項目の一覧表
- (4) コード構成表
…移行ファイル内で使用されるコード構成の一覧表
- (5) コード一覧表
…移行ファイル内で使用されるコードのコード値とその内容の一覧表

【XML形式の中間標準レイアウト仕様】

- (I) XML形式レイアウト仕様
…表形式の「(3)データ項目一覧表」に対応したXML形式のレイアウト仕様
- (II) XML形式サンプル
…XML形式のレイアウト仕様に対応したXMLサンプル

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(1) 移行ファイル構成表の様式と記載内容

- 各業務システムでのデータ移行において移行対象となる移行ファイルを一覧としてまとめたドキュメント。

移行ファイル構成表		業務名:個人住民税	バージョン:V1.0
No.	移行ファイル名称	説明	備考
1	納税義務者情報ファイル	納税義務者関連情報	
2	課税台帳情報ファイル	課税台帳関連情報	
3	所得情報ファイル	所得関連情報	
4	控除情報ファイル	控除関連情報	
5	課税標準情報ファイル	課税標準関連情報	
6	計算過程税額情報ファイル	計算過程税額関連情報	
7	期割情報ファイル	期割関連情報	

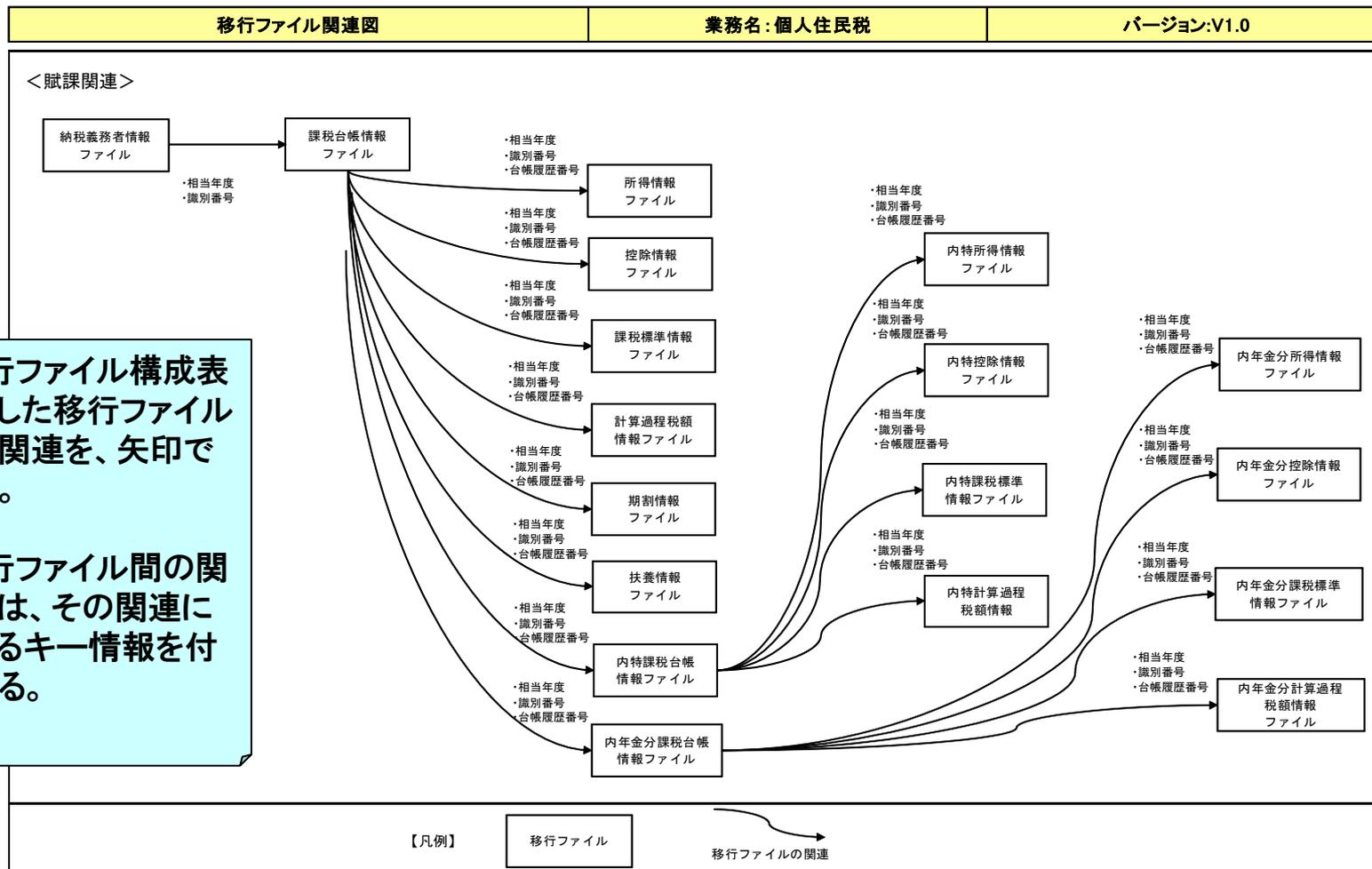
No	項目名	記載内容
1	移行ファイル名称	移行対象の移行ファイルの名称を示す
2	説明	移行ファイルに関する説明を示す
3	備考	(必要に応じて)関連する補足情報を示す

- 業務パッケージ独自の(パッケージの動作に関連する)制御テーブル、運用関連のテーブルなどについては、移行ファイルの対象外とする。
- 業務処理の途中でデータが生成/削除される作業用テーブルは移行ファイルの対象外とする。
- 地域情報プラットフォーム標準仕様の自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3で規定されているコード等、LASDECの市区町村コードや全銀協の銀行コード等のJIS、他業界で定められたコードに関するテーブルについては、移行ファイル構成表の記載対象外とする。

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(2) 移行ファイル関連図の様式と記載内容

・各業務システムでのデータ移行において移行対象となる移行ファイル間の関連をまとめたドキュメント。



2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(3) データ項目一覧表の様式と記載内容

・各業務システムでのデータ移行における移行ファイル内のデータ項目を一覧としてまとめたドキュメント。

データ項目一覧表		業務名				移行ファイル名		バージョン		
		個人住民税				納税義務者情報ファイル		バージョン:V1.0		
No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○/任意△/任意	繰り返し回数 (2桁以上の場合はのみ記載)	項目説明	サンプル値	備考
1	相当年度	X	4			○		課税の対象となる年度(課税すべき年度)	2011	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 個人住民税_相当年度 参照
2	識別番号	X	15			○		個人(法人含む)を識別する番号	49551	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 個人住民税_識別番号 参照
3	個人履歴番号	9	8			○		1月1日時点の個人履歴番号	!	
4	移行年度1月1日情報									※旧システムに移行年度の「1月1日情報」を持たない場合、初期値設定
5	住民種別	X	1		住民種別	○		1月1日の人の種別(住民・住在外・法人)を表す区分	!	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 住民基本台帳_住民種別 参照
6	世帯番号	X	15					1月1日の住基世帯を管理する番号	3496	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 住民基本台帳_世帯番号 参照
7	本人氏名カナ	N	300					1月1日の本人カナ氏名	スズキ タロウ	APPLIC標準仕様V2.3項目セット辞書 フリガナ 参照
8	本人氏名漢字	N	200	○				1月1日の本人氏名	鈴木 太郎	APPLIC標準仕様V2.3項目セット辞書 氏名 参照
9	生年月日	X	8					1月1日の生年月日	19770707	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 住民基本台帳_生年月日 参照
10	性別	X	1		性別	○		1月1日の性別	!	APPLIC標準仕様V2.3データ一覧 住民基本台帳_性別 参照
11	郵便番号	X	10					1月1日の郵便番号	1113333	APPLIC標準仕様V2.3項目セット辞書 郵便番号 参照

No	項目名	記載内容
1	データ項目名称	移行ファイル内のデータ項目の名称を示す
2	データ型	データ項目のデータ型を示す
3	桁数	データ項目の桁数を示す
4	外字使用	データ項目に外字を使用する可能性があるかを示す
5	コード	データ項目にコードを設定する場合に、コード名称を示す
6	必須/任意	データ項目がデータ移行において、必須項目か任意項目かを示す
7	繰り返し回数	データ項目の出現回数を示す
8	項目説明	データ項目に関する説明を示す
9	サンプル値	データ項目に設定される値のサンプルを示す
10	備考	(必要に応じて)関連する補足情報を示す

➤業務パッケージ特有の排他処理を行うための項目や、業務パッケージ独自の項目(システムログ情報等)は対象外とし、当該業務システムでのデータ移行に必要なデータ項目を抽出する。

➤コードを設定するデータ項目については、コードの名称をコード欄に記載する。

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(4)コード構成表の様式と記載内容

- 各業務システムでのデータ移行における移行ファイル内で使用されるコードを一覧としてまとめたドキュメント。

コード構成表		業務名：個人住民税	バージョン：V1.0
No.	項目名	説明	備考
1	住民種別	住民種別を表す区分	APPLIC標準仕様のコード辞書（共通）より引用
2	性別	性別を示す区分	APPLIC標準仕様のコード辞書（共通）より引用
3	続柄	続柄を示す区分	APPLIC標準仕様のコード辞書（住民基本台帳）より引用
4	納税義務区分	納税義務者として登録された理由区分	
5	申告発行区分	市町村申告書の発行状態を表す区分	
6	申告免除区分	納税義務者の申告免除を表す区分	
7	強制非課税区分	強制的に非課税にする際に使用する区分	

No	項目名	記載内容
1	項目名	移行ファイル内で使用されるコードの名称を示す
2	説明	コードに関する説明を示す
3	備考	（必要に応じて）関連する補足情報を示す

- データ項目一覧表のコード欄に記載したコードについて、コード構成表に記載する。
- 地域情報プラットフォーム標準仕様の自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3で規定されているコード、LASDECの市区町村コードや全銀協の銀行コード等のJIS、他業界で定められたコード等についても、コード構成表に記載する。その際、当該コードが定義されている参照先、または引用元について備考欄に記載する。
- 地域情報プラットフォーム標準仕様の自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3で規定されているコード、LASDECの市区町村コードや全銀協の銀行コード等のJIS、他業界で定められたコード等については、当該コードが定義されている参照先または引用元について備考欄に記載する。

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(5)コード一覧表の様式と記載内容

・各業務システムでのデータ移行における移行ファイル内で使用されるコードにおけるコード値とその内容を一覧としてまとめたドキュメント。

コード一覧表				業務名:個人住民税		バージョン:V1.0
No.	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	備考
1	住民種別	X	1	1	住民記録	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				2	外国人	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				3	住登外個人	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				4	法人	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				5	共有者	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
2	性別	X	1	1	男	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				2	女	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
				3	不明(未記入)	APPLIC標準仕様のコード辞書(共通)より引用
3	続柄	X	2	01	世帯主	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				02	妻	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				03	夫	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				04	妻(未届)	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				05	夫(未届)	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				10	子	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				11	長男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				12	二男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				13	三男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				14	四男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				15	五男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
				16	六男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用
17	七男	APPLIC標準仕様のコード辞書(住民基本台帳)より引用				

No	項目名	記載内容
1	項目名	移行ファイル内で使用されるコードの名称を示す
2	データ型	コードのデータ型を示す
3	桁数	コードの桁数を示す
4	コード値	コードに設定されるコード値を示す
5	コード値の内容	コード値の内容を示す
6	備考	(必要に応じて)関連する補足情報を示す

- コード構成表で示したコードについて、コード値とその内容を記載する。
- 地域情報プラットフォーム標準仕様の自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3で規定されているコード、LASDECの市区町村コードや全銀協の銀行コード等のJIS、他業界で定められたコード値の内容等については、当該コードが定義されている参照先または引用元について備考欄に記載する。

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(I) XML形式レイアウト仕様

・各業務で表形式で作成した「(1)移行ファイル構成表」のファイル単位に、「(3)データ項目一覧表」のデータ項目名称、データ型、桁数をXML形式で表記したドキュメント。

1.1 納税義務者情報ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
  <xsd:element name="_08_個人住民税_1_納税義務者情報ファイル">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="相当年度">
          <xsd:simpleType>
            <xsd:restriction base="xsd:string">
              <xsd:maxLength value="4"/>
            </xsd:restriction>
          </xsd:simpleType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="識別番号">
          <xsd:simpleType>
            <xsd:restriction base="xsd:string">
              <xsd:maxLength value="15"/>
            </xsd:restriction>
          </xsd:simpleType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="個人履歴番号">
          <xsd:simpleType>
            <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
              <xsd:totalDigits value="8"/>
            </xsd:restriction>
          </xsd:simpleType>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
</xsd:schema>
```

データ項目一覧表の
「データ項目名称」毎
にタグ化

2. 中間標準レイアウト仕様の構成と様式

(Ⅱ) XML形式サンプル

・「(Ⅰ)XML形式のレイアウト仕様」に基づき、「(3)データ項目一覧表」のサンプル値にてXML形式でのサンプルをまとめたドキュメント。

データ項目一覧表の
「データ項目名称」毎
にサンプル値を表記

2.1 納税義務者情報ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<_08_個人住民税_1_納税義務者情報ファイル>
  <相当年度>2011</相当年度>
  <識別番号>49551</識別番号>
  <個人履歴番号>1</個人履歴番号>
  <移行年度1月1日情報>
    <住民種別>1</住民種別>
    <世帯番号>3496</世帯番号>
    :
    <本人氏名カナ>スズキ タロウ</本人氏名カナ>
    <本人氏名漢字>鈴木 太郎</本人氏名漢字>
    <生年月日>19770707</生年月日>
    <性別>1</性別>
    <郵便番号>1113333</郵便番号>
    <都道府縣市町村コード>11222</都道府縣市町村コード>
    <大字コード>1234</大字コード>
    <小字コード>1234</小字コード>
    <番地コード>00123002340000000099</番地コード>
    <現住所>東京都東西市南町中央1-1-1 南マンション101</現住所>
    <行政区コード/>
    <隣組コード/>
    <続柄1>01</続柄1>
```

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

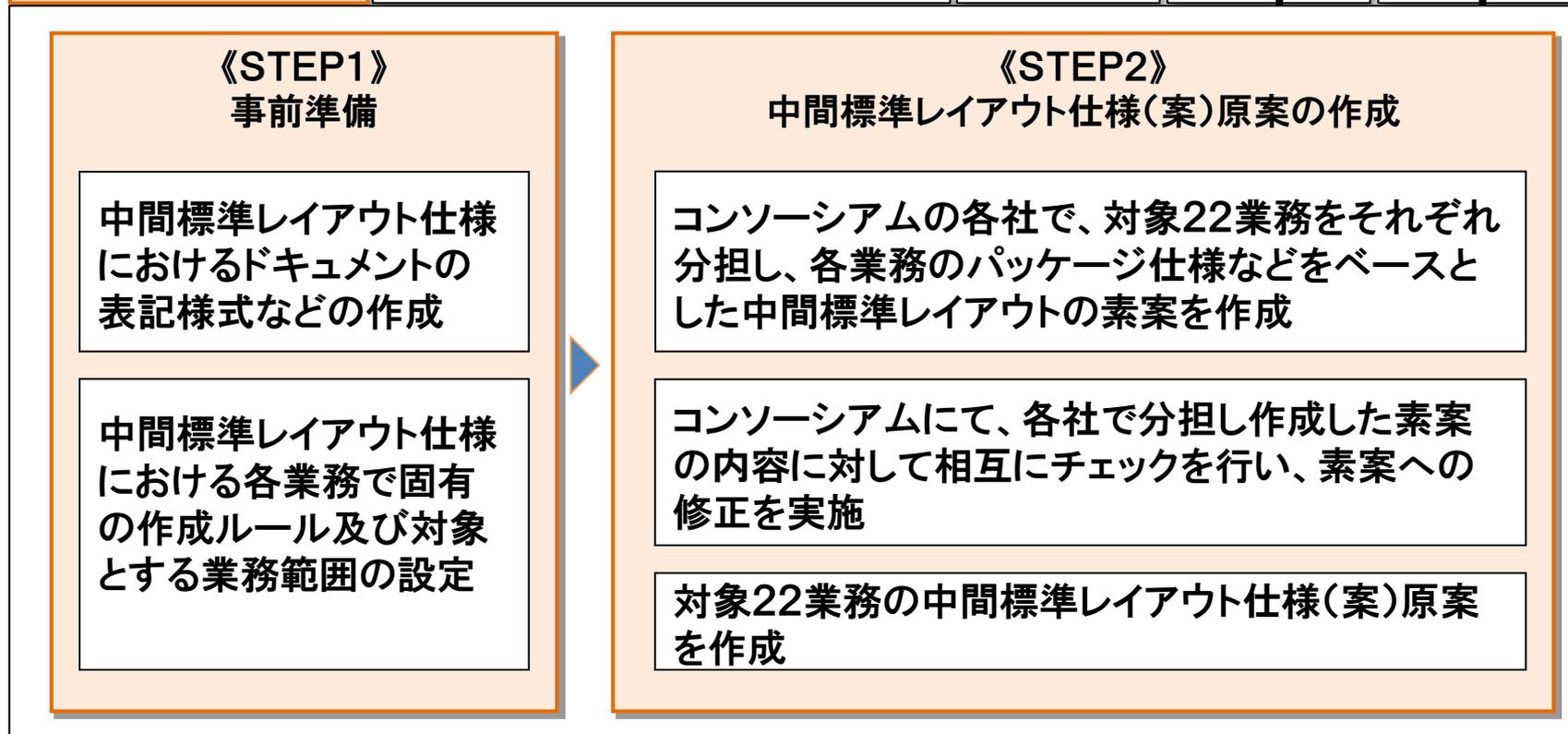
中間標準レイアウト仕様の作成等は、日立製作所・日本電気・富士通3社のコンソーシアムでの作業を中心に、協議事業者(24社)、自治体クラウドの円滑なデータ移行等に関する研究会での確認・意見収集を通じて、概ね以下の流れで実施した。

作業項目	概要	関係者		
		コンソーシアム	協議事業者	研究会
《STEP1・2》 事前準備と 仕様(案)原案の作成	コンソーシアム各社の業務パッケージなどから検討を行い、中間標準レイアウト仕様(案)原案を作成	中間標準レイアウト仕様(案)原案		
《STEP3》 協議事業者からの 意見収集	自治体の業務パッケージで共通的に使用できる仕様とするため、協議事業者に仕様(案)原案を公開し、原案に対する意見を収集		確認	
《STEP4》 有効性に関する 調査研究	《STEP1》《STEP2》と並行して、中間標準レイアウト仕様の有効性に関する調査研究を実施	有効性に関する調査研究		
《STEP5》 有識者からの 意見収集	中間標準レイアウト仕様(案)及び有効性に関する調査研究について、研究会の場にて説明、有識者から意見を収集		意見	確認
《STEP6》 表形式の 仕様の作成	協議事業者及び研究会からいただいた意見の取り込みを実施し、表形式の中間標準レイアウト仕様を確定	中間標準レイアウト仕様		意見
《STEP7》 XML形式の 仕様の作成	確定した表形式の中間標準レイアウト仕様に基づき、XML形式の中間標準レイアウト仕様(案)を作成	中間標準レイアウト仕様(XML形式)		

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

《STEP1・2》にて、以下の流れで中間標準レイアウト仕様(案)原案の作成を実施した。

作業項目	概要	ステークホルダ		
		コンソーシアム	協議事業者	研究会
《STEP1・2》 事前準備と 仕様(案)原案の作成	コンソーシアム各社の業務パッケージなどから検討を行い、中間標準レイアウト仕様(案)原案を作成			



3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

中間標準レイアウト仕様(案)原案を、自治体業務パッケージ等で共通的に使用できる仕様とするために実施した「《STEP3》協議事業者からの意見収集」にて、総務省で募集した協議事業者(24社)の各業務システム別の参画状況は以下のとおり。

No.	業務システム	参画事業者数
1	住民基本台帳	19社
2	印鑑登録	18社
3	住登外管理	18社
4	戸籍	6社
5	就学	13社
6	選挙人名簿管理	16社
7	固定資産税	16社
8	個人住民税	16社
9	法人住民税	16社
10	軽自動車税	16社
11	収滞納管理	16社

No.	業務システム	参画事業者数
12	国民健康保険	16社
13	国民年金	15社
14	介護保険	12社
15	後期高齢者医療	11社
16	健康管理	10社
17	子ども手当	11社
18	生活保護	7社
19	障害者福祉	11社
20	財務会計	11社
21	人事給与	9社
22	文書管理	8社

自治体での業務システムパッケージ導入等の実績を有する全国の協議事業者からの意見を反映し、全国的に適用可能な中間標準レイアウト仕様とすることを目的とした。

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

「《STEP3》協議事業者からの意見収集」において、挙げられた中間標準レイアウト仕様(案)原案に対するご指摘の全体状況は以下の通り。

No.	業務システム	協議事業者 指摘件数
1	住民基本台帳	35
2	印鑑登録	17
3	住登外管理	14
4	戸籍	6
5	就学	16
6	選挙人名簿管理	24
7	固定資産税	107
8	個人住民税	27
9	法人住民税	18
10	軽自動車税	41
11	収滞納管理	48
12	国民健康保険	72

No.	業務システム	協議事業者 指摘件数
13	国民年金	8
14	介護保険	15
15	後期高齢者医療	4
16	健康管理	22
17	子ども手当	6
18	生活保護	35
19	障害者福祉	8
20	財務会計	19
21	人事給与	26
22	文書管理	36
—	業務共通	5
計		609

総指摘件数:609件

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

「《STEP3》協議事業者からの意見収集」での指摘を受けて、全体で315件の修正を実施し、中間標準レイアウト仕様(案)を作成した。以下に修正対応の実施件数の内訳を示す。

No.	対象のドキュメント	対応状況	協議事業者
1	中間標準レイアウト仕様の前提など全体	修正	2
2		回答のみ	16
3	移行ファイル構成表	修正	33
4		回答のみ	24
5	データ項目一覧表	修正	228
6		回答のみ	226
7	コード一覧表	修正	50
8		回答のみ	26
9	その他	修正	2
10		回答のみ	2

修正件数:315／指摘件数:609

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

中間標準レイアウト仕様(案)原案への意見での指摘内容とその対応の事例の一部を以下に示す。

《事例1》 個人住民税

【ご指摘内容】

「土地情報ファイル」に関して、地積の値は整数部分を8桁まで管理可能なようにすべきだと考えます。
※7桁で桁溢れを起こしたケースがございます。



【ご指摘に対する対応】

「土地情報ファイル」の〇〇地積の桁数について、整数部分が7桁のものについて、8桁に修正しました。

《事例2》 国民健康保険

【ご指摘内容】

国保賦課被保所得資産ファイルについて、住民税方式採用ユーザでは、市町村均等割、市町村所得割(端数切捨て後)、都道府県均等割、都道府県所得割(端数切捨て後)を算出根拠とする為、以下の4項目の追加が必要と考えます。

- ・市町村均等割額
- ・市町村端数切捨所得割額
- ・都道府県均等割額
- ・都道府県端数切捨所得割額



【ご指摘に対する対応】

所得割の算定には、住民税方式と所得比例方式(旧ただし書き方式)があり、住民税方式は特別区と政令市の一部(横浜市、名古屋市)で採用されていますが、所得比例方式(旧ただし書き方式)の団体が98%であり、また、住民税方式(所得割算定方式)について、平成25年度より旧ただし書き方式へ1本化することとされています。(平成23年12月28日 保発1228第5号 厚生労働省)
従いまして、本移行データにおきましては、所得比例方式のみを対象とさせていただきます。

3. 中間標準レイアウト仕様の作成の流れ

【中間標準レイアウト仕様としての取纏め】

「《STEP5》有識者からの意見収集」にて、研究会の有識者より中間標準レイアウト仕様(案)への意見を収集した。

参加された団体は以下のとおり。(五十音順、略称アルファベット順)

【地方公共団体】 神奈川県町村会、三条市、千葉県、八王子市、東近江市、福山市

【その他の団体】 APPLIC、IPA、LASDEC

「《STEP6》表形式の仕様の作成」にて、研究会からの意見、指摘を受けて修正を実施し、中間標準レイアウト仕様(表形式の5種類)を確定した。

「《STEP7》XML形式の仕様の作成」にて、表形式の中間標準レイアウト仕様に基づき、XML形式の中間標準レイアウト仕様を作成した。

4. まとめ

【中間標準レイアウト仕様の規模感について】

協議事業者及び研究会の意見を反映して作成した中間標準レイアウト仕様について、業務システム別のデータ項目一覧表の項目数は、以下のとおり。

No.	業務システム	データ項目数
1	住民基本台帳	268
2	印鑑登録	23
3	住登外管理	151
4	戸籍	3,227
5	就学	95
6	選挙人名簿管理	114
7	固定資産税	821
8	個人住民税	536
9	法人住民税	190
10	軽自動車税	108
11	収滞納管理	756

No.	業務システム	データ項目数
12	国民健康保険	903
13	国民年金	185
14	介護保険	1,196
15	後期高齢者医療	574
16	健康管理	435
17	子ども手当	116
18	生活保護	2,012
19	障害者福祉	1,374
20	財務会計	216
21	人事給与	928
22	文書管理	177

4. まとめ

自治体クラウドポータルサイト

- [自治体クラウドポータルサイト](#)
- [電子自治体の推進](#)
- [地域の情報化の推進](#)
- [その他](#)

中間標準レイアウト仕様

総務省では、自治体業務システムの切り替えに伴うデータ移行時に、全国の自治体が共通的に利用できる中間標準レイアウト仕様を作成しました。

○中間標準レイアウト仕様

- ・[\(表形式\)一括ダウンロード\(zip\)](#)(24MB)
- ・[\(XML形式\)一括ダウンロード\(zip\)](#)(14MB)

【業務別】(中間標準レイアウトを業務別に分割したものです。)

※○をクリックするとPDFにリンクします。一括ダウンロードはzip形式となります。

	一括ダウンロード	表形式					XML形式	
		移行ファイル構成表	移行ファイル関連図	データ項目一覧表	コード構成表	コード一覧表	レイアウト仕様	サンプル
1. 住民基本台帳	○							
2. 印鑑登録	○							
3. 住登外管理	○							
4. 戸籍	○							

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/lg-cloud/02kiban07_03000024.html